

神森男女V 全国切符

県中学新人ハンド

ハンドボールの第19回浦添市長杯争奪第50回県中学生新人大会最終日は9日、ANAアリーナ浦添で男女決勝まで行った。男女とも神森が制し、女子は浦西を19-15で下して3年ぶり13度目の優勝。男子は東風平に27-24で振り勝ち、2年連続20度目の頂点に立った。

男女の優勝チームは富山県で3月26日に開幕する全国大会の出場権を得た。準優勝と3位は3月17日から県内で行われる九州大会に出場する。

【男子】

▽準決勝
神森 24-22 浦西
東風平 23-21 昭葉付
▽3位決定戦
浦西 28-23 昭葉付

▽決勝

神森 27(12-10)-24 東風平

【女子】

▽準決勝
浦西 23-15 沖繩東
神森 22-21 仲西
▽3位決定戦
仲西 17-16 沖繩東

▽決勝

神森 19(9-4)-15 浦西

▽優秀選手 【男子】豊平琉翔(神森) 池田有輝(同) 小波津和史(同) 知念利紀(東風平) 内間瑠翔(同) 新垣陽都(浦西) 花城英音(昭葉付)

【女子】石田穂の香(神森) 當間陽乃香(同) 神谷ピノ(同) 森宮美空(浦西) 仲田珠江(同) 西原琉美花(仲西) 伊良波奈々(沖繩東)



女子優勝の神森

女子13度目

昨年9月の八重瀬町長杯、12月の地区新人と同じ顔合わせとなった女子決勝。神森は新チームになって3度目の対戦で初めて浦西を破り、悲願の優勝を飾った。

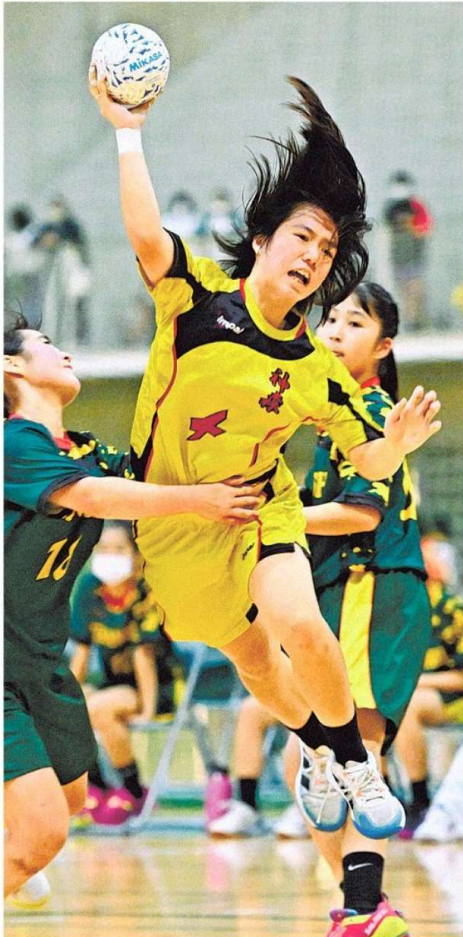
立ち上がりからリズムをつかみ、前半を9-4と5点差で折り返した。後半は残り約11分で3点差まで追い上げられた。しかし最後まで全員が集中を切らさず、エース當間陽乃香主将が最多11得点を挙げるなどして逃げ切りに成功した。

神森は浦西に勝とうと1対1の強さやロングシュートの練習に励み、その積み重ねが実を結んだ。相手ディフェンスの間を力強く突破して得点を重ねた當間は「がんがん前に強く攻めよう意識した。めっちゃうれしい」と喜んだ。

立ち上がりから好セーブを連発し、流れをつくった石田穂の香は「最後まで諦めずみんなで頑張った」とチームワークを誇った。3得点した神谷ピノは「パスミスなど課題もあるが勝って良かった。1歳上の男子のように全国2冠したい」と意気込んだ。

(溝井洋輔)

力強い攻撃リード守る



女子決勝 神森-浦西 後半、神森の當間陽乃香が17点目のシュートを決める=ANAアリーナ浦添(小宮健撮影)

堅守で団結 猛追かわす



男子2年連続20度目

男子決勝 神森-東風平 前半、神森の豊平琉翔が11点目のシュートを決める男子優勝の神森

スポーツ

終盤まで接戦にもつれこんだ男子決勝は、神森が東風平の猛追を27-24で振り切った。全国2冠を果たした前チームから司令塔の豊平琉翔主将とエース小波津和史が残り、堅い守備を基礎にチームワークで頂点をつかみ取った。前半は12-10と神森リードだったが、東風平も知念利紀や大城歩夢、神谷悠真らが攻撃力を発揮。後半5分で同点となり、その後はシーソーゲームの接戦となった。残り8分、神森の小波津や池田有輝らの連続得点で一気に突き放した。



豊平は「去年のような個の力はないが、一丸となってカバーし合えるよう練習してきた」とチームワークを勝因に挙げた。縦への突破で積極性を発揮した小波津は「準決勝は良くなかったが決勝は

あせらずに自分たちのプレーができた」と修正力に手応え。攻守に走り回った池田は「大会を通して守備も成長した。全国まででシュートミスを減らし、もっとチームに貢献したい」と向上心を見せた。